

手話を学ぶ「福祉サマースクール」が8日、上西厚生館（明石市二見町西二見）で開かれ、小学生と高校生約30人が手話やジェスチャーを通して耳が不自由な人たちと交流した。

（川崎恵莉子）

児童ら手話学び ろうあ者と交流

上西厚生館で福祉サマースクール

教室は、子どもたちに障害がある人の不自由さを知り、サポートの方法を学んでもらおうと同館が企画した。先月は車いすとアイマスクの体験を行った。

教室では、ろうあ者2人が、音が聞こえないため火事や電車の人身事故の発生に気付かなかったことなど日常生活で困った経験を語った。手話サークル明城会



「困っている人いたら助けてたい」

手話サークルのメンバーから手話を教わる子どもたち（明石市二見町西二見）

は勇気がいるけど、困っている人がいたら助けてあげたい」と話した。

中学生も

第35回明石ライオンズカップ中学生サッカー大会（神戸新聞社など後援）が8日、久保中学校（明石市大久保町）などで開幕した。選手は猛暑の中、懸命にボールを追った明石ライオンズクラブが主催。2年生以下のジュニアの部と全学年が出場できるシニアの部に、それぞれ15チームが参加。トーナメント形式で争う。シニアの部は県大会の予選も兼ねている。8日はジュニアの部の1、2回戦が行われた。

大会は27日まで、計4日間行われる。（有富晴貴）

熱戦を繰り広げる中学生選手たち（明石市大久保町大久保町）